

## 温度の発育に対する影響

- 1) 花芽分化に低温を要求する作物の春化のための低温刺激
- 2) 発育の背後で進行する諸酵素の温度反応を介した、発育の一般のプロモーター

春化(vernalization)とは

質的低温要求性と量的低温要求性

## 発育プロモーターとしての温度

温度はあらゆる発育現象（発芽、葉・分枝数の増加、草丈伸長、花成（花芽分化）、花芽の発達、種子の成熟など）に影響する

## 温度と発育との一般的関係

1. 発育の最低温度以下では発育が全く進まない
2. 最適温度以上では高温ほど発育完了までの日数は短くなる
3. 発育の最適温度以上では逆に高温ほどその日数は長くなる

## 温度と発育との関係のとりえ方

積算温度

DVR

## 作物の栽培可能期間

作物の栽培可能期間や発育を考える意味は何か？

作物の生育期間長

全生育期間 = 基本栄養生長期間 + 感温相 + 感光相 + 狭義の生殖生長期間 (登熟期間)

品種の早晩性は、以下の3つの性質の組み合わせで決まる。

- 1) 基本栄養生長性
- 2) 感温性
- 3) 感光性

感光性品種と感温性品種

## 品種の早晩生と地理的分布

緯度と作物生育

## ムギ類の低温要求性

花成に必要な低温の程度とその日数には品種間差異がある 秋播性程度

秋播性程度と品種の地理的分布